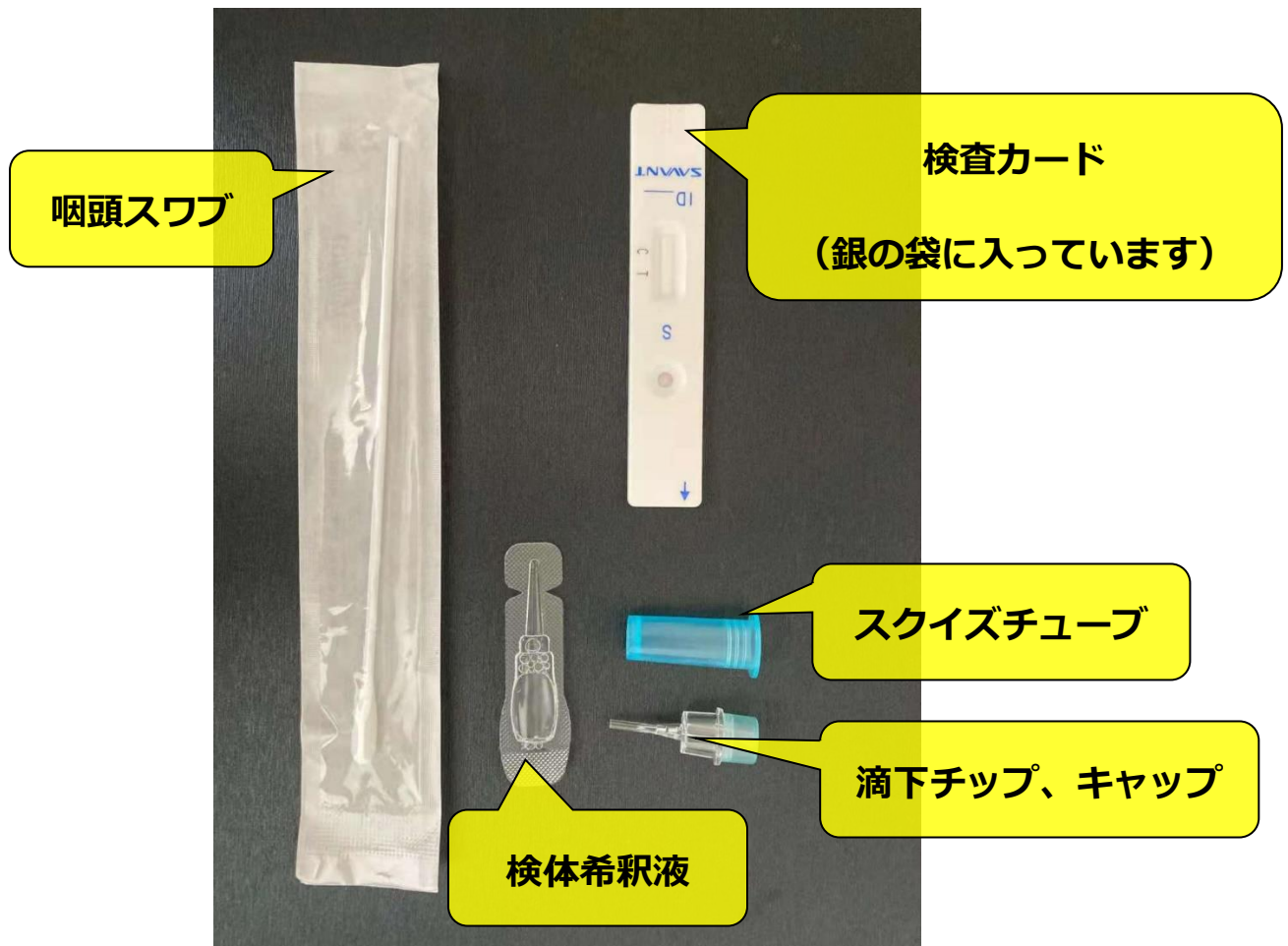


# 新型コロナウイルス抗原検査キット検査方法（V4 2021）

## 【検査準備】

1. パッケージに含まれている内容物を確認します



2. 時間を測定するためにタイマーを用意してください
3. 清潔な部屋で、清潔な作業テーブルを用意します
4. 検査する時はゴム手袋を着用するのが望ましいです

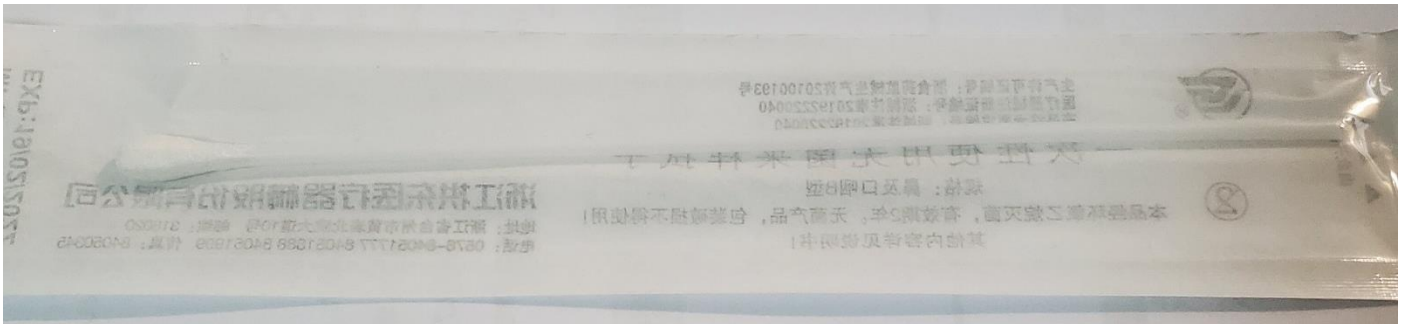
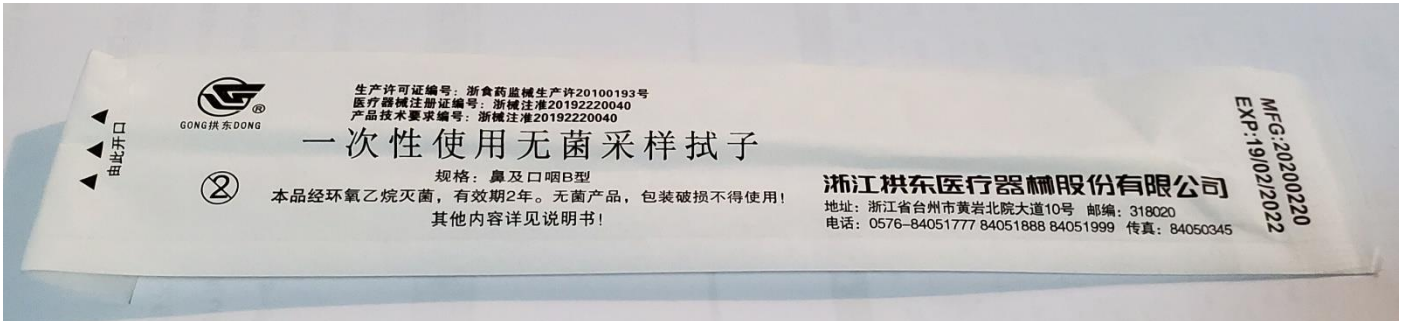
製品は常に改良や印刷の変更（通関対応のため）が行われているため、**写真と現在流通している商品の柄が異なる事が有ります**。扱い方、検査感度などは変わりありません。

## 【検査前の注意】

- 採取した検体は保存せずできる限り早く、後述の検査方法に従い検査してください。
- 検査カードの入ったアルミ袋は乱暴に取扱わないでください。
- 検査カードの入ったアルミ袋から検査カードを取り出す際のアルミ袋の開封は、袋の耳部を持って開封してください。
- 検査カードは用時開封を守ってください。
- 検査カードのサンプル投入口および判定部には手を触れないようにしてください。

## 【検査方法】

### 1. 咽頭スワブを取り出します

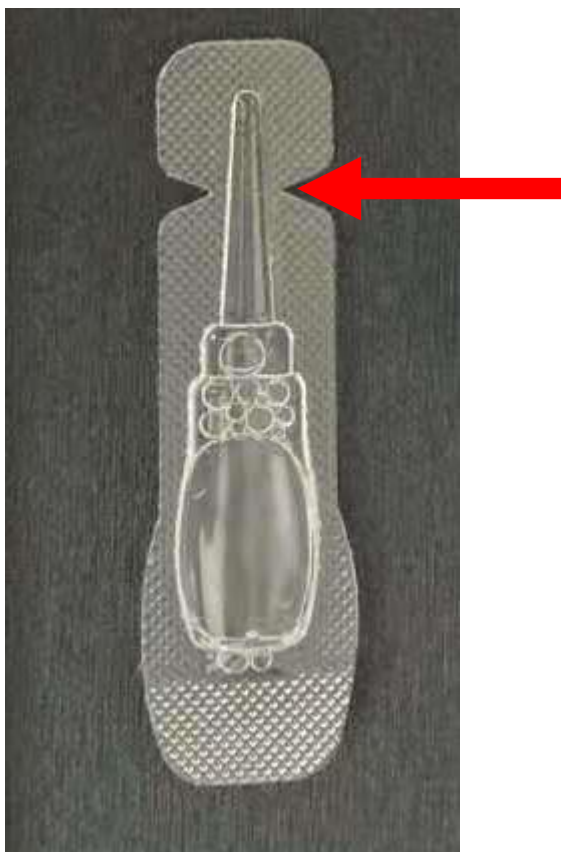


咽頭スワブの先端を喉の奥の方に入れ、数回擦るようにして粘膜表皮を採取します。喉の奥が難しい場合は、鼻の奥でも可能です。唾液だと検査結果が表れないので NG です。

## 2. 検体希釈液をスクイズチューブに移します



スクイズチューブから滴下チップを外します。図では滴下チップのキャップも外れていますが、キャップは現段階で外しません。



検体希釈液の先端を切断し、液をスクイズチューブに移します。検体希釈液の飛び散

りが起こらないよう注意してください。

### 3. 検体希釈液と粘膜を混ぜます

検体を採取した咽頭スワブの綿球部分を速やかに検体希釈液に浸します。検体希釈液と粘膜がまざるようにかき混ぜます。



調製した検体希釈液の入ったスクイズチューブに滴下チップをしっかりとはめ込みます。図のように、**ノズルが付いている方をスクイズチューブ内部に向け**ます。

### 4. 新型コロナウイルス検査カードを銀の袋から取り出し机の上に水平に置きます。

滴下チップを使い、サンプル投入口に検体希釈液を「3滴」滴下します



検体希釈液を検査カード「S」の上の部分（**サンプル投入口**と言います）に垂らします。例ではスポイトを使っていますが、滴下チップを使って同様に検体を滴下します。**ゆっくり3滴滴下します。**

※検査カードと滴下チップ先端を10mm以上離してください。近すぎる場合には液滴が小さくなり試料液の滴下量が少なくなる場合や、液滴が確認できず所定量より多く滴下される場合があります。

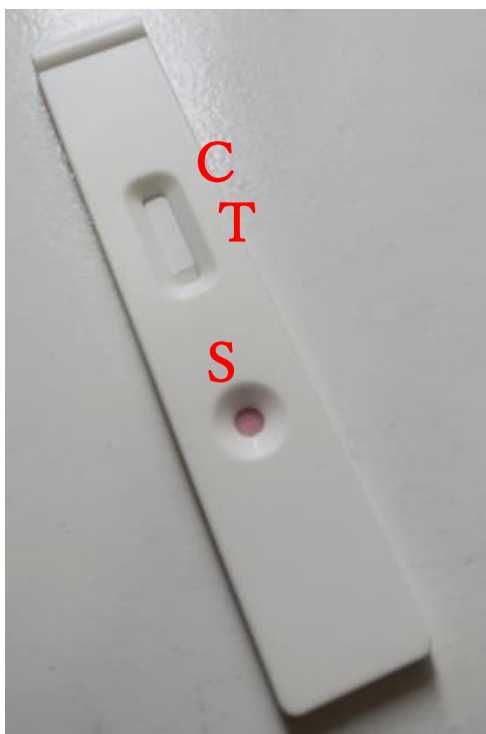
5. サンプル投入口に検体希釈液を供給した瞬間は、サンプル投入口が部分的に湿って染まるだけで何も起こりません。



そこから3分くらい様子を見ます。判定部分に検体希釈液が染み込むか見ます。

※静かに観察してください。もし、どうしても染み込む様子が無ければ、1滴くらい追加で垂らします。 **焦って、大量の液を垂らさないようにしてください。**

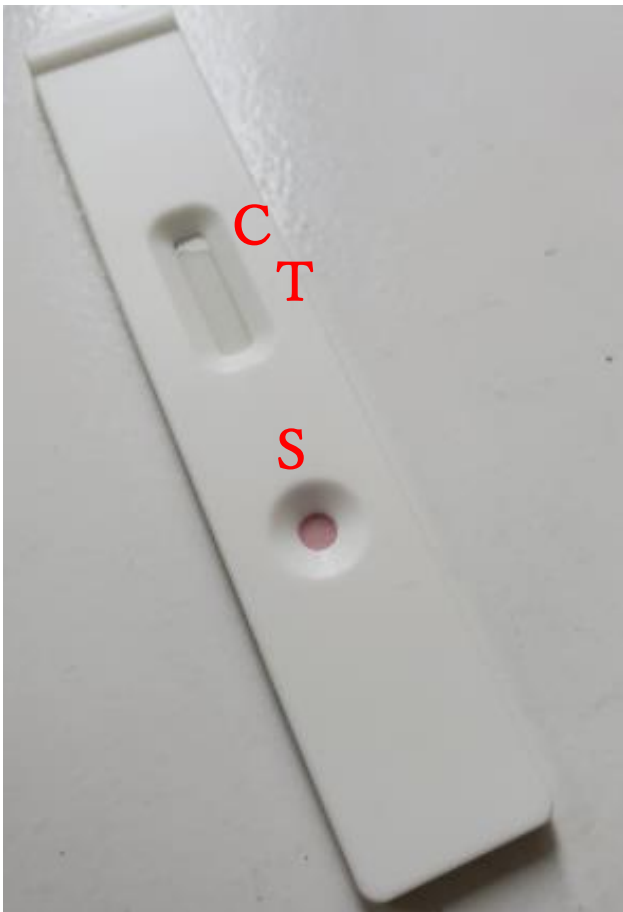
6. 判定部分に検体希釈液が浸透してくるのを確認します



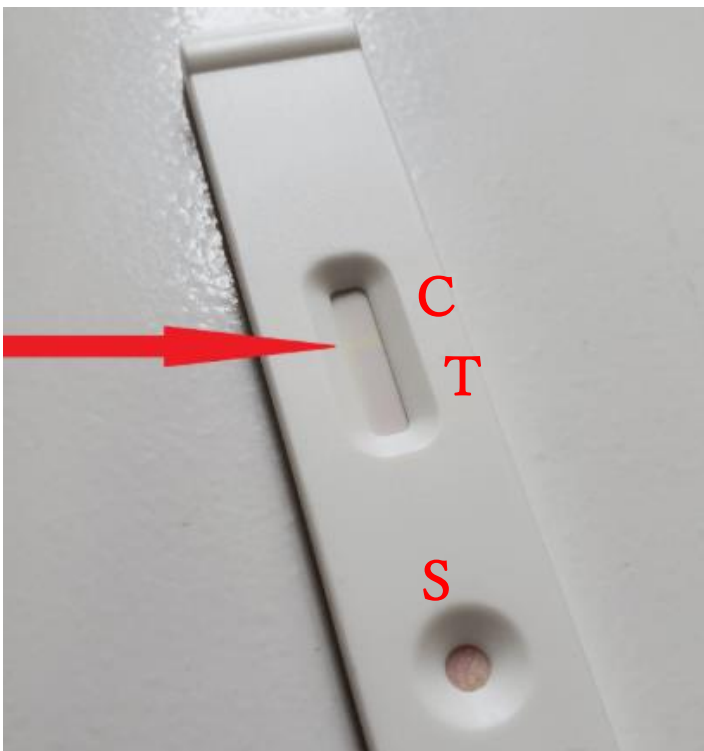
徐々に浸透してきます。



7. 判定部分に検体希釈液が完全に染みるのを待ちます。



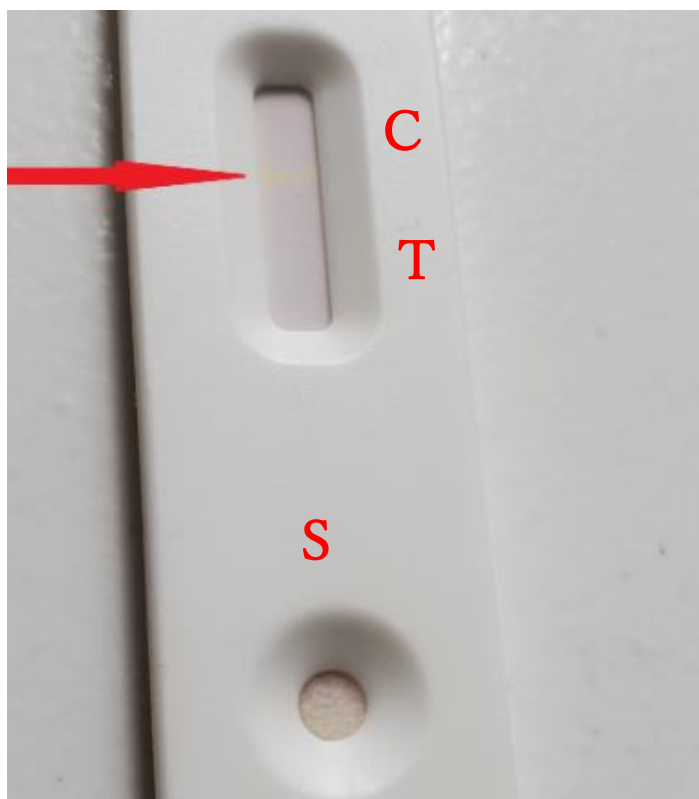
8. 判定部分に検査結果のラインが浮かび上がるのを待ちます。



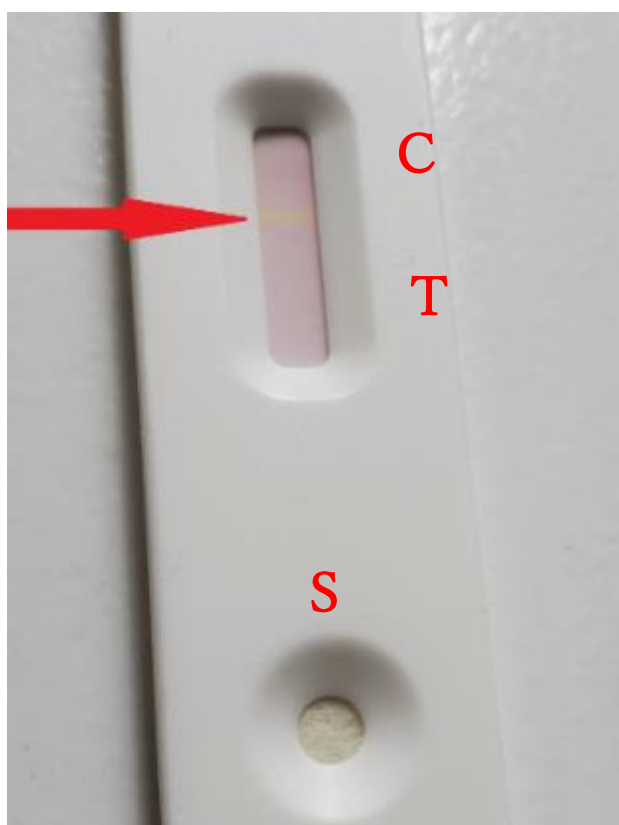
※写真は検体希釈液を垂らした直後の様子です。この段階でも線は薄く出ているので、凝視すれば確認可能です。



9. 判定部分に検体希釈液が染みてから、約5分待ちます



※判定部分に染みた検体希釈液が乾き始めると、線がより鮮明に見えるようになります。



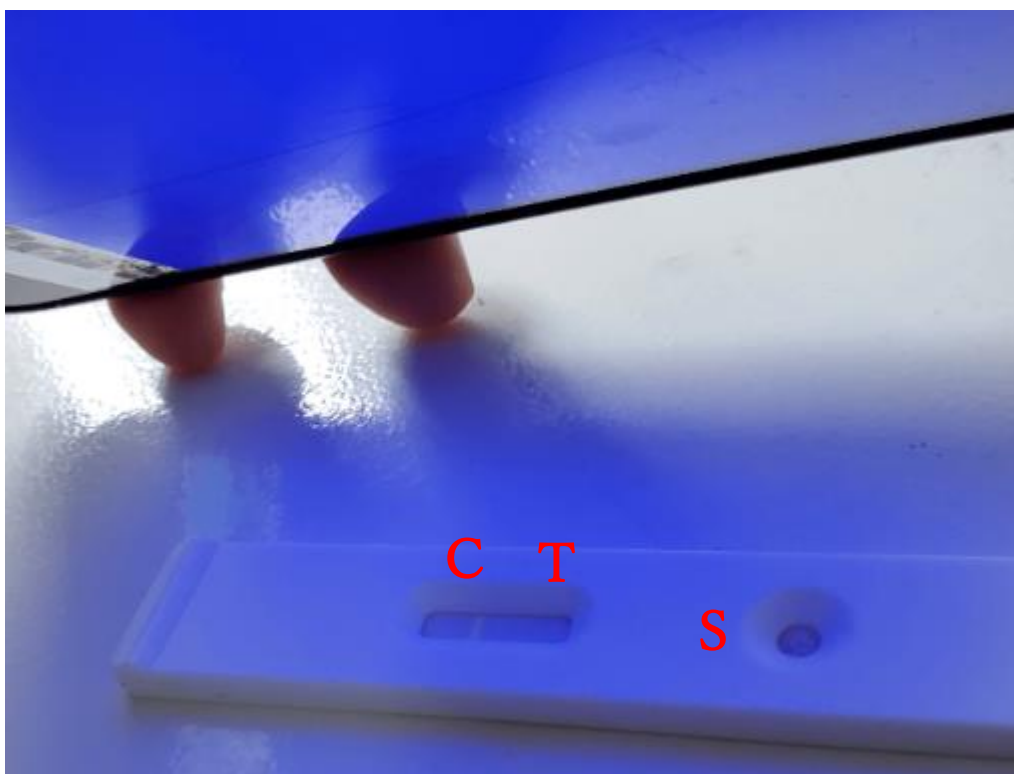
10. 紫外線ライトを併用して判定ラインを確認します。

※携帯電話で青い画像を表示して、それを紫外線ライトの代わりに代用できます。



<https://covid19jp.com/wp-content/uploads/blue.jpg>

上記の URL にアクセスしてください。ただ単に青い画像が表示されます。

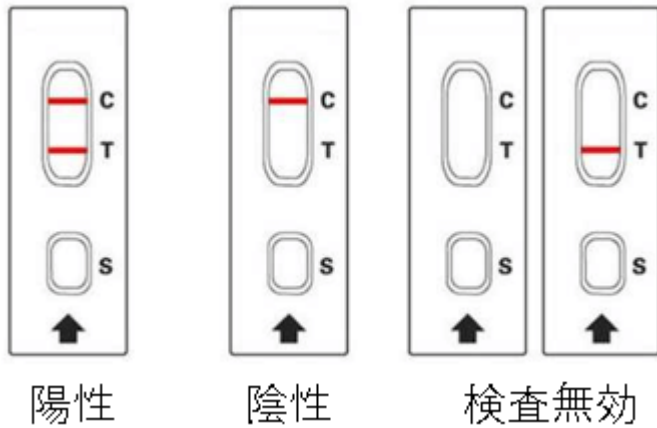


青い光を判定部分に照射すれば、線がよりはっきり見えるようになります。

上記は陰性の例です。

※現在パッケージに紫外線ライトを同封しています。紫外線ライトは単四電池で動作します。電池は同封していないので、お客様でご用意ください。

## 1 1. 検査結果を確認します

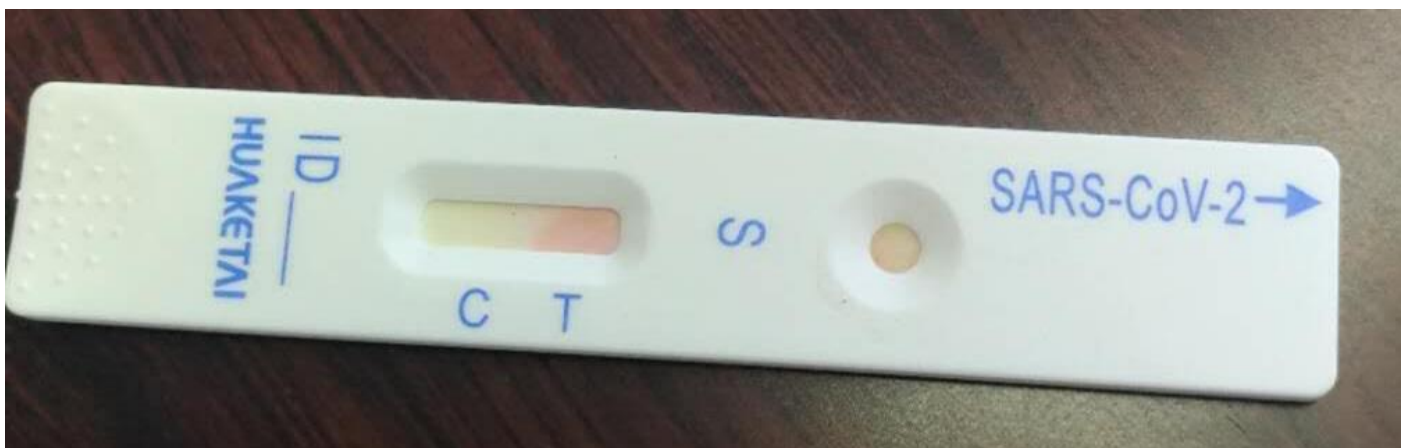


二重線（CとTそれぞれに線）が表示されれば陽性です。T側の線は薄く出るので凝視してください。線の色は例とは異なり、赤ではありません。

T側の線が薄く表示された場合、それは「弱陽性」を意味します。陰性や偽陽性ではありません。

【注意】この検査結果は、あくまで参考程度と捉え、実際にどうは医師の判断に従ってください。

【補足】以下は検査失敗の例です。考えられる要因は、



- 検体希釈液の垂らしすぎ
- 検体希釈液を直接判定部分に垂らしている、など

検査は丁寧に実施してください。

以上